

提示文書

本院で骨原発肉腫の治療を受けた患者さまにむけて

2000年1月～2015年3月までの間に骨原発肉腫の治療を受けた患者様を対象に、治療効果の評価法についての研究を行っています(研究課題:骨原発肉腫における治療効果判定法の検討)。骨原発肉腫の治療効果は治療方針に影響するものであり、可能な限り正確に評価したいと考えています。現在の評価法としてCTやMRIでの腫瘍の縮小、切除標本の病理検査(腫瘍の壊死の評価)が一般に行われていますが、その正確性は十分とはいえません。この研究では、化学療法前後の画像検査と病理検査の相関を調べ、さらに画像検査や病理検査と、再発や転移など治療経過の相関を調べます。これらの相関を比較することにより、化学療法の適切な評価方法を検討します。

□ 研究の方法について

この研究の実施には、手術前に施行された画像検査、切除された腫瘍、カルテでの治療経過を評価させていただきます。画像検査における化学療法前後の変化、切除腫瘍における腫瘍の壊死率、治療経過について、統計学的に評価します。集計されたデータは学会発表、学術論文などで公表されることがありますが、個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることはありません。

□ 予想される利益(効果)と不利益(副作用)について

この研究では、対象となる方に直接治療などを行うことはありません。過去に撮影された画像検査などの情報を用いた研究であり、この研究に参加することによって患者さまの利益・不利益はともにありません。この研究を行うにあたり、対象となる患者さまが費用を負担することはありませんし、謝礼も発生しません。

□ 研究を中止する場合について

通常の臨床研究では、対象となる患者さまひとりひとりに同意書をかいていただいておりますが、今回の研究では、これまでに当院で治療を行った数多くの患者さまが対象となるため、それが困難になります。そのため、当院ウェブサイトに掲載する形でお知らせして、研究への不参加を希望される場合にのみ、お手数ですが2015年10月31日までに下記の研究責任医師(三輪真嗣)までお知らせいただくことにさせていただいております。

この研究に参加するかどうかについては、患者さま自身の自由な意思でお決めください。研究が始まった後でも、いつでも不参加の意思を伝えていただくことができます。もし、お断りになっても、これからの治療に差し支えることは一切ありません。なお、本研究は金沢大学医学倫理委員会の承認を受けた後に実施されます。

□ プライバシーの保護について

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありま

せん。

□ 結果の公表について

今回の研究から得られた成果は随時、学会発表や論文発表を行うことがあります。その際には、個人が特定できないように十分配慮し、対象患者さまの匿名性を守ります。

□ 資金等について

この研究を実施するにあたり、営利目的の団体からの資金、資材は一切受けておりません。

□ 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、更に詳細な情報を知りたいなどがありましたら、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

研究代表者 三輪真嗣

金沢大学附属病院

研究責任者：先進運動器医療創成講座 三輪 真嗣 職名：特任助教

分担者：機能再建学講座 青木 裕 職名：医員

相談窓口：研究実施診療科の連絡先 電話：076-265-2374